

ACE 人権通信 6月

人権教育・啓発通信：「エース」
発行：阿南中学校PTA家庭・人権教育部
2026年6月16日（火）
文責：人権教育主事 吉野 有佳

体育祭も終わり、次の学校行事は遠足と修学旅行でした。学校を離れ、友達と過ごす時間は特別で、普段見られない表情や思いっきりはしゃぐ姿を見ることができました。3年生はこれから、中学校生活最後の行事が終わっていきます。仲間と過ごす時間を大切に！全力で取り組んでいきましょう。

◇遠足（1年：姫路セントラルパーク 3年：USJ）

1年生は6月1日に姫路セントラルパークに行きました。サファリパークでは間近にいる動物たちを身を乗り出して見て、遊園地では何回もジェットコースターに乗り、時間いっぱい楽しみました。また、5月29日、快晴の中、3年生は中学校生活最後の遠足でUSJへ！みんな、前日からワクワクした様子でした。バスでのおしゃべり、アトラクション、買い物、長～い待ち時間さえも、仲間と過ごした時間はかけがえのない思い出になったことでしょう。1年生も3年生も楽しい思い出を力に変えて、これからの学校生活や勉強もみんなでがんばっていきましょう。



遠足でジェットコースターに乗りました。もともと苦手でしたが、上にのぼって下に落ちるときに体がフワッとうきました。同じことを友達としていると、絆が深まるのを身をもって体験できました。

（1年 武谷 幸来）

私は班のみんなと一緒にたくさんの乗り物に乗れたのが良かったです。最初に見た、サファリパークでは、たくさんの動物がいました。普段見られない動物もいて、とても良かったです。遊園地はジェットコースターが好きなので、たくさん乗りました。とても良かったです。

（1年 幸泉 玖海）

中学校最後の遠足は初めから終わりまでとても良かったです。行きのバスや帰りのバス内で友達と話した時間はとても良い思い出になりました。USJに着いても歩いている時間であったり、そしてアトラクションに乗った後の友達の笑顔は最高でした。少し人混みは疲れましたが、その疲れをふき飛ばしてくれるような友達との楽しい時間を過ごすことができ、より仲が深まった気がします。1人では感じるようなことができないようなことが多くあったので、とても友達に感謝したいと改めて感じました。

（3年 西條 珠寧）

中学校最後の遠足で、3年生になったときからずっと遠足を楽しみにしていたので、とても楽しかったです。乗り物はほぼ全部1時間待ちだったので、そんなにたくさん乗ることができなかったけど、最初に乗ったハリーポッターの乗り物は本当にハリーポッターの世界に入ったみたいな感じがして、少し怖かったけど、すごくおもしろかったです。中学校最後の遠足もとてもいい思い出になりました。

（3年 山本 明日風）

◇修学旅行（沖縄）

2年生は5月30日～6月3日に修学旅行で沖縄に行きました。「ひめゆり資料館」、「糸数壕」、「平和の礎」の見学や、現地中学生との平和学習交流会、また、マリンスポーツや文化体験などの体験活動、「美ら海水族館」や「国際通り」での自由研修を通して、“沖縄”への理解を深めました。さらに、集団行動の中で、規律を守って行動することの意義を理解し、友達との絆も深めることができました。仲間と生活を共にすることで、「みんなが幸せ」に過ごせるための空間づくりを実践しています。この5日間の“失敗”や“成功”を、日々の生きる力につなげていきたいと思います。台風接近のため、2日延泊となりましたが、予定していたすべての活動ができ、2年生にとって、たいへん有意義な修学旅行となりました。



沖縄に向かっていくときの飛行機や帰りの飛行機から見える、青空や雲がとてもきれいでした。国際通りはすごく建物が多くて、見て歩いているだけでも、すごく楽しかったです。それを友達と買い物をして歩くことで、より友達との仲が深まりました。

（2年 島 向日葵）

体験者の方が言っていた「戦争のない時代に生まれたかった」という言葉と、先生が大事にしてほしいと教えてくださった「命こそ宝」という言葉が心に残っています。戦争のない今がどれだけ幸せか感じ、これからも命を大切にしたいと改めて思いました。

（2年 撫養 柚奈）

ひめゆり資料館で亡くなった人達の顔写真とかガマの深さとか暗さを実際に見てとても心が痛くなりました。私達と同年の人達もたくさんいてももっともっと楽しいことをしたかったらうなあと思いました。ガマの中で太陽の明るさも感じられずに亡くなった人もたくさんいるので、今の明るさ、学校に通えていること、家族がいることに感謝して生活します。

（2年 山西 凜）

ひめゆり資料館で、宜野座中学校のみなさんがいてねいにガイドしてくれて、命の尊さや戦争について深く知ることができました。ひめゆり学徒隊の解散命令がでてからわずか数日しかたっていないのに、死亡者がとても増えていて、過激な環境におかれていたのだと思いました。

（2年 岩浅 萌菜）

◇生命（いのち）の安全教育

6月10日、3年生がデートDV防止セミナーを受けました。現代社会におけるDV被害者の多さは生徒たちが考えている以上のもので、身近に助けを必要としている人がいるかもしれない、自分にも同じことが起こるかもしれないと考えさせられる内容でした。高校生のデート映像や、教師や生徒同士のロールプレイをもとに、どのような点が「デートDV」と言われることなのかを学びました。生徒たちには、互いを尊重する、すてきな恋をしてほしいと思います。



私はこの講演を聞くまでは「デートDV」という言葉は知りませんでした。しかし、この機会に知れて良かったです。そして、DVやデートDVは自分の身近にも起きていることなんだとわかりました。「気づいて自分の中に学びおとす」ということや「自分のことは自分で決める」ということも大切なことだと知り、これからの自分の生活にこの講演で学んだことをいかしていきたいです。

（3年 石居 明莉）